

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	高知市家庭教育支援チーム (呼称: ふわ RIN とさ)
②活動拠点	高知市立勤労者交流館
③活動範囲	高知市・高知県
④組織体制	<p>15 人</p> <p>○生活倫理相談士 3人</p> <p>○ママさんサポーター12人 (内 看護師 1名 助産師 1名 保健師 1名 民生委員 1名)</p>
⑤活動開始年度	2015年度
⑥問合せ先	<p>(部署・氏名等)</p> <p>『ふわ RIN とさ』 森本富美子</p> <p>(TEL)090-6280-4378 (E-mail)</p>

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

【具体的な活動内容】

子育てセミナーふわ RIN とさの開催

二カ月に一度、講師を招聘し、高知市立勤労者交流館で子育てセミナーを開催しています。テーマは、参加者や子育て委員などからの希望を聞いて決めています。対象は、妊婦さんから子育て中の保護者の方です。

講師の話聞いた上で、自分の悩みを出し合ったり、また、自分は悩みとどう向き合い、取り組んだかなどをグループで話す場も設定しています。

講師に個人的に悩みを相談することもできます。

子育て発表会も実施し、子育て世代以外の方にも活動内容・成果を発表する機会もあります。

子供倫理塾の開催

子育てセミナーに参加している子供さんを預かり、セミナーと同時開催で〈あそび・まなび・しつけ〉を基本に、学びの場を提供しています。

返事や挨拶などの仕方をロールプレイングするなどして、楽しく分かりやすく学んでいます。また、次回の子供倫理塾までに、家でどんなことに取り組むかを自分の課題として、発表しています。(例えば、『靴そろえ』『手伝い』『あいさつ』『勉強を頑張る』など)

大人が紙芝居や絵本の読み聞かせをするのを聞いたりしています。また、子どもたちでは工作やゲームをしたり、短歌や書道にも取り組んでいます。

また、お年寄りとコラボレーションして『おじいちゃん、おばあちゃんと昔遊びをしよう』『おじいちゃん、おばあちゃんと餅つきをしよう』などの活動もしています。

③活動内容



【おじいちゃん・おばあちゃんと昔遊び—あやとり・おはじき・コマまわし】



【かみひこうきづくり】



【だまし絵づくり】

<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>子育てセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供にどう向き合えばよいか分からないと悩んでいた方が、参加者同士の話し合いの中で、その向き合い方を学ぶことにより、自分に自信が持てるようになり、子育ての役職も進んで引き受けてくれています。 <p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てセミナーに参加するだけでなく、言われたことを実践しなければ何も変わらないと改めて思いました。 ・子育てセミナーに参加したら、イライラした気持ちなどを吐き出せて、家に帰れます。 ・夫婦の関係性が大切だと気付きました。 ・心配な事や不安なことがポジティブに捉えられるようになりました。 ・小学校1年生から、目覚ましをセットして自分で起きるようになり、高校生になった今でも続いています。 ・講師に『怒らない』『やりたいことはやらせる』『決めつけない』『見守る』ということが大事だと教えていただいたので、これらをいつも、頭においています。出来ない時もありますが、だんだん出来るようになってきています。 ・子育ての話をする事で、悩みを共有でき、一人ではないと気付くことが出来ました。 ・姉弟をくらべないようにしています。 ・心に余裕ができ、家族に優しくできるようになりました。 ・子どもに言う前に、親自身の生活態度を見直すことが大事だと思いました。 ・できるだけプラスの言葉を言うようにしています。 ・講師の話はもちろん、いろいろな方の話が聞けたのが良かったです。 <p>子供倫理塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人前で発表するのが苦手だった子供が回を重ねるにつれて、自信を持って発表できるようになり、役割(進行・あいさつなど)も進んで引き受けられるようになってくるなど、ぐんと成長しました。 ・大きい子供が、小さい子供の世話をする等、子供の優しい面が見られ、保護者にその良さを伝えることができました。 ・工作などをした後には、言われなくても、力を合わせて片づけられるようになっていきます。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (資料・お菓子代として200円 会場費は(一社)倫理研究所)</p>